

風水害への備えと行動

近年、地球温暖化現象の影響ともいわれる記録的な大雨や大型台風により、日本各地で毎年のように洪水被害や土砂災害が発生しています。

風水害は、地震とは異なりある程度予測できるため、被害を抑えることができます。いざというときに慌てることがないように、日頃からどのように行動するか確認しましょう。

風水害への備え

浸水が想定される区域

- 中央区洪水ハザードマップを確認しましょう。
(P61～P64 参照)
[配布場所]
区役所 1 階防災危機管理課、
日本橋・月島・晴海特別出張所



備蓄品や非常用持出品

- 家族構成などを考慮し、個々の状況に応じたものを用意しましょう。(P16～P19、P29 参照)

情報の入手方法

- テレビや気象庁などのホームページで気象情報を確認しましょう。
また、気象の特別警報などの緊急情報や避難情報の入手方法も確認しましょう。(P21～P22 参照)

気象情報

- 気象庁ホームページ
<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>



浸水対策

- 雨風が強くなる前にベランダに置いてあるものは室内に入れ、排水溝などを掃除しておきましょう。
- 道路の「側溝」や「雨水ます」の吸い込み口が落ち葉やごみでつまらないよう、家周りの清掃も心掛けましょう。
- 低地・くぼ地・地下室・半地下への浸水に備えて、「土のう」や「水のう」、「止水板」を用意しましょう。



避難時の注意

区から避難情報が発令された場合は、区が指定した避難場所や浸水しない地域に避難してください。

また、安全な地域の親戚や知人宅などに避難することも検討してください。

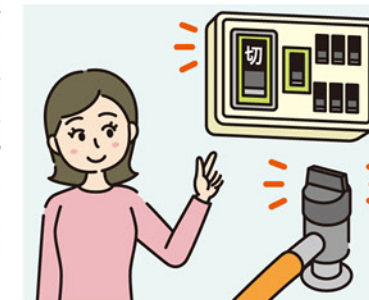
- こまめに避難情報や気象情報を確認して、早めの避難を心掛けましょう。



- 夜中に大雨が予想される場合には、暗くなる前に避難することがより安全です。



- 避難をする前にガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを落としましょう。



- 高齢者や障害のある方など避難に時間を要する方は早めの避難を心掛けましょう。



- 川や橋には絶対に近づかないでください。



- 1人での避難は避け、近所で声を掛け合い避難しましょう。



- 大雨により、マンホールのふたが外れることがあります。危険なので近寄らないでください。



- 避難場所などへの避難がかえって危険な場合は、速やかに頑強な建物の3階以上に避難してください。



風水害の避難場所

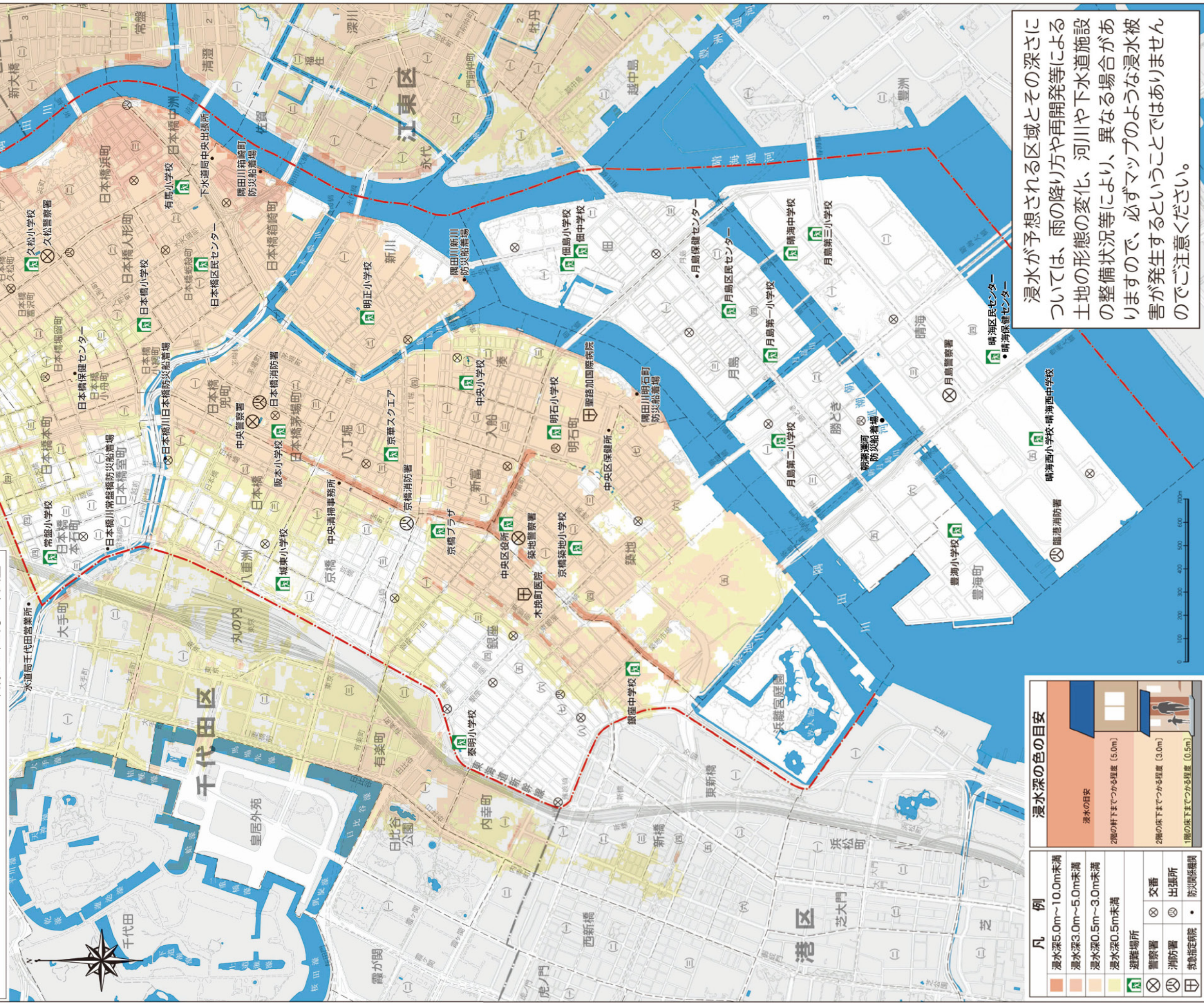
- 防災拠点 24 カ所 (P43 参照)
- 中央区役所
- 日本橋区民センター
- 月島区民センター
- 晴海区民センター

中央区洪水ハザードマップ (荒川版)

このハザードマップは、想定し得る最大規模の降雨（荒川の流域平均3日間総雨量632mm、1,000年に1回程度）によって、荒川が氾濫した場合、中央区において浸水が予想される区域とその深さを示したものです。区内への浸水は、堤防が決壊してから約12時間後に到達するとされています。

※国土交通省が作成した「荒川水系荒川洪水浸水想定区域図（平成30年9月）」を基に作成しています。

平成31年3月 中央区



浸水が予想される区域とその深さについては、雨の降り方や再開等による土地の形態の変化、河川や下水道施設の整備状況等により、異なる場合がありますので、必ずマップのことではありませんのでご注意ください。

中央区洪水ハザードマップ (隅田川・神田川・日本橋川版)

このハザードマップは、想定し得る最大規模の降雨（総雨量690mm・時間最大雨量153mm、1,000年に1回程度）によって、河川の氾濫や下水道施設の排水能力を大きく超えた場合、中央区において浸水が予想される区域とその深さを示したものです。
※東京都が作成した「神田川流域浸水予想区域図（平成30年3月）」、「江東内部河川流域浸水予想区域図（令和2年3月）」、「隅田川及び新河岸川流域浸水予想区域図（令和3年3月）」を基に作成しています。
令和4年3月 中央区

